

## 日本学術会議第 25 期会員候補者任命に関する声明

日本学術会議が推薦する第 25 期会員の 6 名について、内閣総理大臣が任命をしなかった今般の件について、その決定に強く抗議し撤回することを求めます。この問題は、時の政権が日本学術会議法によって規定されている日本学術会議の独立性を脅かし、不当に統制的支配を及ぼし「学問の自由」を侵害する行為と言わざるを得ません。

日本公民館学会は、公民館を中心とする社会教育機関が「すべての人々の生涯にわたる学習権を保障する中心的な教育機関として発展すること」を目的として結成されました。この「学習権」は、日本国憲法が保障する「学問の自由」と不可分の権利であり、本件が孕む問題は国民の学習権の抑圧にまで及ぶことが危惧されるものです。

日本学術会議は、第 181 回総会において菅義偉内閣総理大臣宛で、第 25 期新規会員任命に関する以下の要望を決議しました。

1. 2020 年 9 月 30 日付で山極壽一前会長がお願いしたとおり、推薦した会員候補者が任命されない理由を説明いただきたい。
2. 2020 年 8 月 31 日付で推薦した会員候補者のうち、任命されていない方について、速やかに任命していただきたい。

私たち日本公民館学会は、「すべての人々の生涯にわたる学習権を保障する」ことを求める立場から上記の決議を支持するとともに、政府に対して 6 名を任命しなかった理由の説明と、日本学術会議の推薦に基づくすべての会員候補者について任命するよう求めます。

2020 年 10 月 30 日  
日本公民館学会 理事会